

# 漁海況月報

平成28年5月13日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

## 1 海況予測

### (1) 現況

5月9日の人工衛星画像によると、黒潮は潮岬でやや離岸したあと、北緯32度付近まで南下し、八丈島の東を通り北上して、房総半島沖を東に流れています。

現在、渥美外海への暖水の流入は弱い模様です。

### (2) 予測

現在のところ、潮岬以西に目立った蛇行はないことから、黒潮の流路はしばらくC型が継続した後、6月以降にN型となると予測されています。

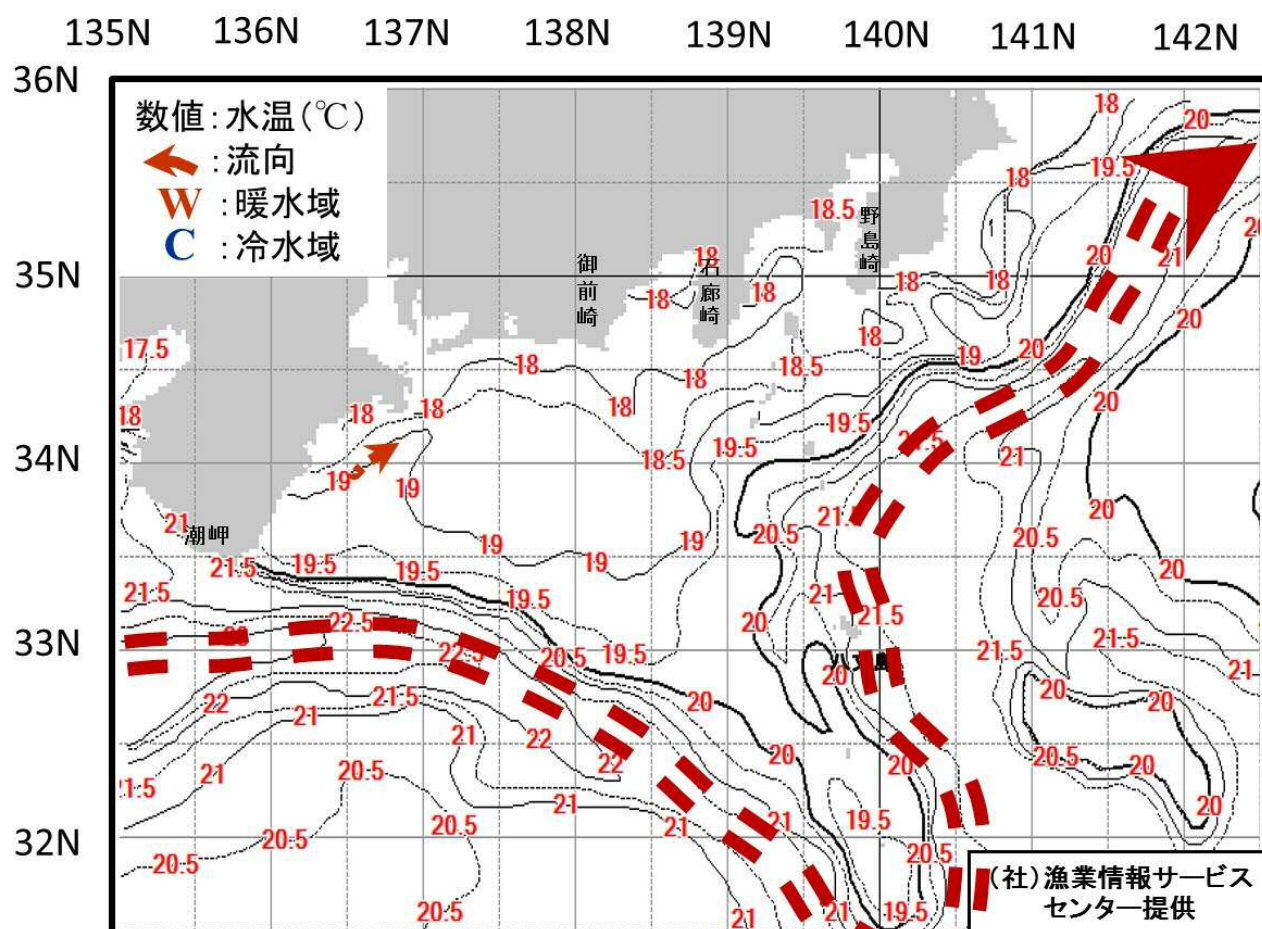


図1 海況の現況[2016年5月9日]

# 1 シラス

2016年4月は渥美外海で約1,210トンの漁獲があり、4月としては好調だった昨年を上回り、高水準の漁獲量となりました。これは、この時期に遠州灘方面からの暖水波及が断続的に発生していた(図2)ことから、黒潮内側域のシラスが渥美外海へ運ばれ、漁場が形成されたものと考えられます。

5月に入ってからには熊野灘沖方面からの暖水波及が弱まっており(図3)、次第に沿岸域で発生したカタクチシラスが主体となっていくものと考えられます。

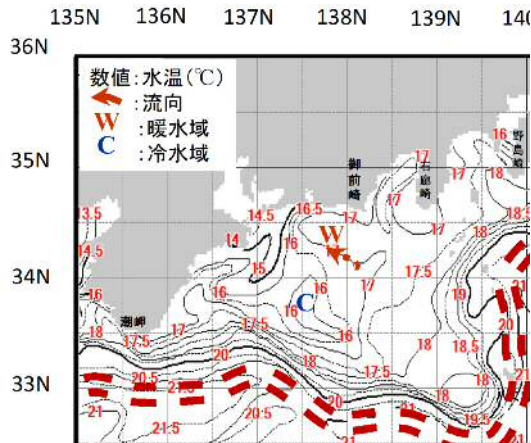


図2 平成28年4月11日の黒潮流路

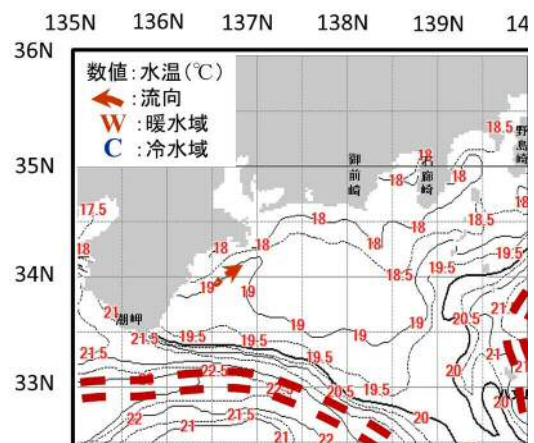


図3 平成28年5月9日の黒潮流路

表1 愛知県シラス漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	581								1,896
10年平均	2	0	7	419	1,585	1,061	610	562	542	737	555	224	6,306

\*2016年5月の漁獲量は、5月6日現在

沖合を回遊するカタクチイワシ太平洋系群の2014年、2015年級群の資源量は低水準と考えられています。また、4月の海幸丸による外海調査では、カタクチイワシ卵の採集数はごくわずかでした。4月中に好調だった紀伊水道外域におけるシラス漁獲量は5月に入ってから減少傾向となっています。

しかし、6月以降は、季節的に熊野灘方面からの暖水流入が弱く渥美外海で冷水域が発達する海況の方がシラスの漁獲量がまとまる傾向があります。いまのところ、熊野灘方面からの暖水波及も弱い傾向となっており、シラスの来遊量は徐々に回復すると推測されます。

## 2 カタクチイワシ

2016年4月の船びき、まき網の操業はありませんでした。

5月に入ってからの操業もありません。

5月6日に海幸丸による伊勢湾漁場調査を実施しましたが、二見から豊浜にかけての潮目付近に魚群が確認できたものの、その量はわずかで、内湾への来遊はいまのところ低水準と考えられます。

表2 愛知県カタクチイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,707	2,888	2,900	665	1,223	361	13,617
2016	85	0	14	0									100
10年平均	84	48	12	226	736	1,826	4,107	4,147	2,596	1,505	1,330	739	17,357

## 3 マイワシ

2016年4月の船びき、まき網の操業はありませんでした。

5月に入ってからの操業もありません。

近年の傾向から、内湾への来遊は夏以降と考えられます。

シラスへのマシラス混入率は、昨年同様、4月中旬以降約50%程度と高水準になっており(図4)、今年も夏以降の漁獲が期待されます。

表3 愛知県マイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	574	11,123
2016	74	0	0	0									74
10年平均	8	9	0	0	1	29	255	757	736	432	212	81	2,519

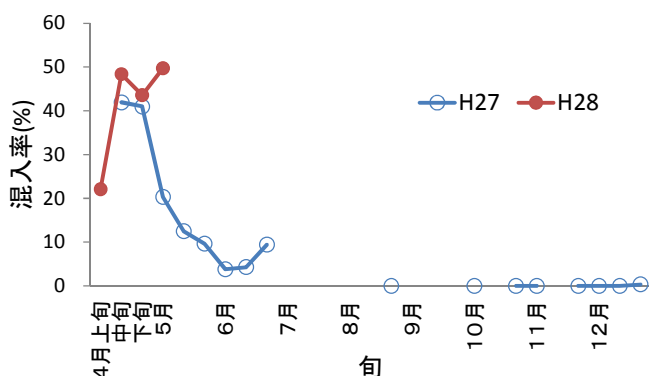


図4 マシラス混入率

### 3 イカナゴ

5月9日に外海のデヤマ海域において、イカナゴ夏眠魚の調査（空釣り）を実施しました。

採集尾数の平均は28尾/kmで、2000年の13尾/kmに次いで低い値でした（表4）。平均体長は98.9mm（図5）、肥満度の平均は4.2でした。

0歳魚としては昨年よりも魚体サイズは大型ですが、体長組成から1歳以上と考えられる魚はいませんでした。

デヤマ海域の底層水温は17.5℃で、夏眠が本格する水温には到達していません。このため、今後、水温の上昇とともに夏眠魚の数も増加することが期待されます。

表4 空釣り調査結果（愛知水試）

	イカナゴ夏眠魚 採集量（尾/km）									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2000	9	13	60		76	46	183			12 (参考)
2006				2,535						
2007		1,128	2,180		1,682		1,039			544
2008	77	45	49			121		68		30
2009		435	438				740			501
2010		792	3,306				1,333			1,589
2011		964	2,910				425			518
2012	230	378		1,721			1,869			1,324
2013	462	1,268	2,597							1,690
2014	146	1,670	(659)* <sup>1</sup>	110			49			116
2015	119* <sup>2</sup>	61	132		47	1	4	7		5
<b>2016</b>	<b>0.5</b>	<b>28</b>								

\*1 2014年6月は三重水研の調査結果

\*2 2015年4月の調査日は、5月1日

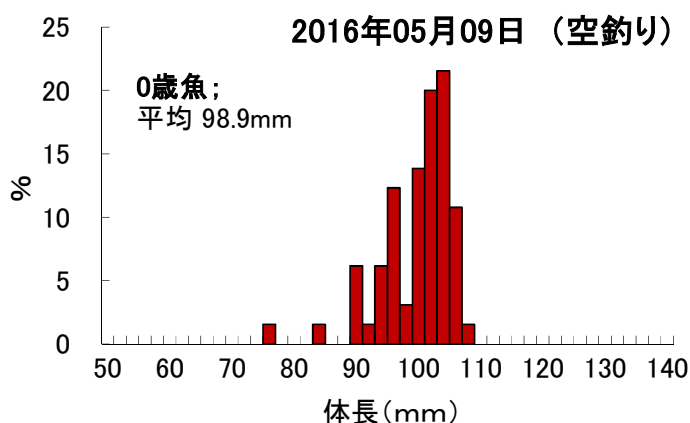


図5 2016年の体長組成

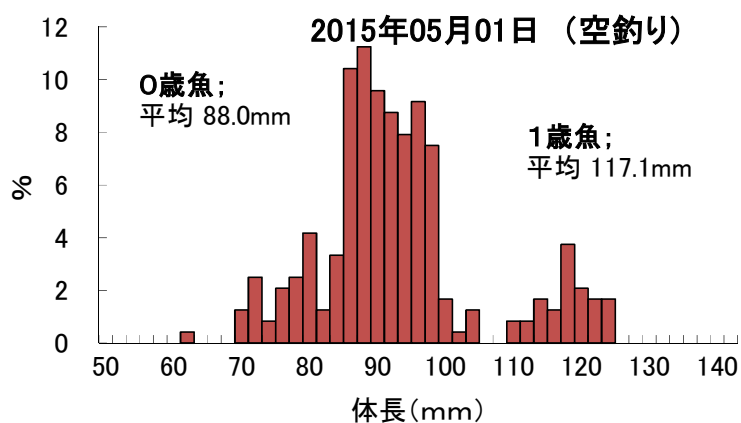


図6 2015年の体長組成